

都市再生整備計画 モニタリングシート
駿府ふれあい地区

平成24年3月
静岡県静岡市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	駿府ふれあい地区		面積	248ha			
交付期間	平成21～25年度		事後評価実施予定時期	平成25年度	モニタリング実施時期	平成23年8月		交付対象事業費	9996.1百万円	国費率	0.432		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業		事業名				事業進捗の状況(順調か、遅れているか)						
			基幹事業	【道路】静岡駅前紺屋町地区道路整備事業、【公園】駿府公園整備事業(第4工区坤櫓)、【地域生活基盤施設】静岡都心公共サイン設置事業、【高質空間形成施設】しずまチ地下道内装工事、【優良建築物等整備事業】鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業				順調に進捗している。					
	当初計画から削除した事業		提案事業				事後評価実施年度に向け、(仮称)まちづくり推進事業を推進して行く。						
			提案事業	【地域創造支援事業】静岡市美術館整備事業、【まちづくり活動推進事業】(仮称)まちづくり推進事業				事後評価実施年度に向け、(仮称)まちづくり推進事業を推進して行く。					
	新たに追加した事業		事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	—				—		—			
交付期間の変更		当初	平成 21～ 25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—					
		変更	—					—					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針		
				基準年度	目標年度	計測年度	達成見込み						
	指標1	地域資源の活用実感度	%	27	H20	46	H25	42	H23	あり なし	● ●	駿府公園や静岡市美術館の整備により、「静岡らしい」施設の活用実感度が上昇しており、事業が進捗することにより、更なる数値の上昇が見込まれる。	駿府公園(坤櫓)整備の完了に向けた事業推進を図るとともに、静岡市美術館における施設の更なる活用を検討する。
	指標2	歩行者空間の快適性実感度	%	45	H20	60	H25	46	H23	あり なし	● ●	整備が完了している地下道整備や公共サインの設置により、満足度は5.4%減少し、快適な歩行空間が整備されていると実感されている。今後は、交通結節点機能の強化としての新静岡駅周辺整備や紺屋町地下道リニューアル工事等、指標の改善に寄与する事業を実施することで目標値の達成が見込まれる。	新静岡駅周辺地区の電線共同溝や歩道の整備、紺屋町地下道リニューアル整備事業の完成を目指し、兵衛町における道路整備に向けた事業を推進する。
指標3	歩行者通行量	人	464,000	H19	470,000 (変更予定)	H25	360,000	H22	あり なし	● ●	新静岡駅周辺地区整備や、それに伴う大型商業施設の休業により中心商店街における歩行者通行量が減少している。更に、計画策定当初に予期していなかった経済状況の急激な変化により、平成20年度以降、歩行者通行量が著しく減少したため目標の達成は難しい状況にある。	景気後退に伴う平成20～21年度歩行者通行量の大幅な減少を加味したトレンドに見直し、目標値の下方修正を行うとともに、引き続き市街地再開発事業や公園整備等、にぎわい拠点整備を推進し、歩行者通行量の減少傾向を抑制する。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	モニタリング		目標	総合所見		今後の対応方針		
	その他の指標1			基準年度	目標年度	計測年度	達成見込み						
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・従来より継続して実施している地下道整備事業により、市民アンケート結果では「暗い・狭い」という印象が改善されている。 ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。 												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	平成23年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● ●				
	住民参加プロセス	①平成21年度 森下公園計画づくりワークショップの開催 ②平成22年度 森下公園の満足度に関するアンケートの実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● ●				
持続的なまちづくり体制の構築	継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない				● ●					
6)モニタリングの所見	総合所見	順調 要改善	●	経済状況の急激な変化等により、計画策定当初の目標値を見直す必要がある。			今後の事業の改善点		<ul style="list-style-type: none"> ・住民、商店関係者等市民との協働(ワークショップ)を実施し、事業の推進や整備施設の活用を促す事業の検討により、地域資源を活かした、活力のあるまちづくりを推進する。 ・指標「3歩行者通行量」の目標値の見直し。 				

都市再生整備計画 モニタリングシート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

(4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

(5) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

(6) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他(計画区域)	●		250ha	248ha	静岡市中心市街地活性化区域に合わせ縮小した。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	静岡駅前紺屋町地区道路整備事業	76.0	L=284	76.8	L=284m	なし	—			●	計画通りに完成
	新静岡駅周辺(電線共同溝)整備事業	—	—	268	L=310m	平成22年3月に計画変更して追加	歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			●	事業完了に向けて事業推進
	市道呉服町通線道路整備事業	—	—	217	L=225m	平成22年3月に計画変更して追加	歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●			平成24年度以降、実施について検討を行う
公園	駿府公園整備事業(第4工区坤櫓)	1,780	A=0.9ha	1,783	A=0.9ha	なし	—			●	事業完了に向けて事業推進
	森下公園再整備事業	—	—	200	A=1.2ha	平成22年10月に計画変更して追加	地域資源の活用実感性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			●	事業完了に向けて事業推進
河川											
下水道											
駐車場有効利用システム											
地域生活基盤施設	静岡都心公共サイン設置事業	60	—	60	—	なし	—			●	計画通りに完成
高質空間形成施設	しずまチ地下道内装工事	54.7	A=230㎡	54.7	A=230㎡	なし	—			●	計画通りに完成
	紺屋町地下道リニューアル整備事業	—	—	371.6	A=2,160㎡	平成22年3月に計画変更して追加	歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			●	事業完了に向けて事業推進
	静岡駅北口駅前広場植栽工事	—	—	16	—	平成22年3月に計画変更して追加	歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			●	計画通りに完成
市街地再開発事業	静岡呉服町第一地区市街地再開発事業	—	—	14,142	A=0.7ha	平成22年3月に計画変更して追加	歩行者通行量及び歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			●	事業完了に向けて事業推進
優良建築物等整備事業	鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業	18,000	A=1.44ha	17,000	A=1.55ha	平成22年3月及び10月に事業費・事業内容を変更	歩行者通行量及び歩行空間の快適性に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。			●	事業完了に向けて事業推進
土地区画整理事業(都市再生)											
住宅市街地総合整備事業											

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地区再開発事業											
バリアフリー環境整備事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
市街地再開発事業		静岡駅前紺屋町地区	20,000	22,450	平成17～22年度	平成17～22年度	計画通りに完成	
交通結節点改善事業		JR静岡駅前北口広場	3,141	4,460	平成16～20年度	平成16～20年度	計画通りに完成	
交通結節点改善事業		JR静岡駅南口広場	—	—	—	—	実施時期未定	
道路事業		御幸町鷹匠町2号線	—	—	—	平成22年度	計画通りに完成	
高質空間形成事業		紺屋町地下道内装工事	—	—	—	—	基幹事業へ変更	
市街地再開発事業		呉服町第一地区	—	—	—	—	基幹事業へ変更	
静岡都心地区歩行者優先都市交通環境形成まちづくり推進事業		—	—	—	—	平成21～25年度	事業実施中	
静岡呉服町第二地区市街地再開発事業		—	—	6,300	—	平成23～27年度	事業実施中	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度	あり	なし				
指標1	地域資源の活用実感度	%	—	—	27	H20	46	H25	42	H23	●		駿府公園や静岡市美術館の整備により、「静岡らしい」施設の活用実感度が上昇しており、事業が進捗することにより、更なる数値の上昇が見込まれる。	駿府公園(坤櫓)整備の完了に向けた事業推進を図るとともに、静岡市美術館における施設の更なる活用を検討する。
指標2	歩行者空間の快適性実感度	%	—	—	45	H20	60	H25	46	H23	●		整備が完了している地下道整備や公共サインの設置により、不満足度は5.4%減少し、快適な歩行者空間が整備されていると実感されており、今後は、交通結節点機能の強化としての新静岡駅周辺整備や紺屋町地下道リニューアル工事等、指標の改善に寄与する事業を実施することで目標値の達成が見込まれる。	新静岡駅周辺地区の電線共同溝や歩道の整備、紺屋町地下道リニューアル整備事業の完成を目指し、呉服町における道路整備に向けた事業を推進する。
指標3	歩行者通行量	人	512,347	H10	464,000	H19	470,000 (変更予定)	H25	360,000	H22	●		新静岡駅周辺地区整備や、それに伴う大型商業施設の休業により中心商店街における歩行者通行量が減少している。更に、計画策定当初に予期していなかった経済状況の急激な変化により、平成20年度以降、歩行者通行量が著しく減少したため目標の達成は難しい状況にある。	景気後退に伴う平成20~21年度歩行者通行量の大幅な減少を加味したトレンドに見直し、目標値の下方修正を行うとともに、引き続き市街地再開発事業や公園整備等、にぎわい拠点整備を推進し、歩行者通行量の減少傾向を抑制する。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	実施年度	実施年度					
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・従来より継続して実施している地下道整備事業により、市民アンケート結果では「暗い・狭い」という印象が改善されている。
- ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による 検討	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成23年度 【実施結果】 都市再生整備計画及び個別の各自業の進捗状況の把握 市民アンケート調査の実施 目標値の見直しによる計画変更に向けた対応の検討	モニタリングの実施結果をもとに、目標値を 下方修正するため、第4回計画変更に向け て調整を行う。
	予定はなかったが実施した		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
森下公園計画づくりワークショップの開催	予定どおり実施した	● 【実施頻度】計4回 【実施時期】平成21年度 【実施結果】 森下公園の再整備について、地域住民を対象としたワークショップを開 催し、公園の整備イメージの検討を行った。	ワークショップの結果をもとに、平成22年度 より大型遊具の設置等、整備を開始してい る。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施し ていない		
森下公園の満足度に関するアンケートの実 施	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成22年8月 【実施状況】森下公園周辺の住民を対象に実施(回答数:448人) 【実施結果】 平成22年度8月時点における森下公園の満足度を調査した結果、全ての 項目で満足度が2割を下回っており、今後の整備改善が望まれている。	公園整備完了後に再度、アンケート調査を 実施する。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施し ていない		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
継続的な市民まちづくり活動を実施できる 体制の構築	予定どおり実施した	—	—	計画策定時に実施した市民ワークショップの 参加メンバーを中心に、次期計画策定及び 本計画の事後評価の実施過程において ワークショップを開催する。
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施し ていない			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長：都市計画部長 本部長：経営企画部長、危機管理部長、財政部長、市民生活部長、文化スポーツ部長、環境創造部長、福祉部長、子ども青少年部長、商工部長、建築部長、土木部長、道路部長、消防部長、下水道部長、教育部長	第1回：平成23年8月30日 第2回：平成23年10月13日	都市局 都市計画部 都市計画課
駿府ふれあい地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長：市街地整備課長 部会員：文化振興課長、文化財課長、商業労政課長、都市計画課長、交通政策課長、公園整備課長、道路保全課長	第1回：平成23年8月10日 第2回：平成23年9月30日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標1		指標2		指標3	
		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	静岡駅前紺屋町地区道路整備事業	-	静岡市美術館の整備や従来から取り組んでいた駿府公園の再整備の効果により、地域の歴史・文化資源に対する市民の活用実感度が高まっている。	◎	従来より取り組んでいる地下道整備や、公共サインの設置によるわかりやすさの向上により、歩行空間の快適性が高まっている。今後は、交通結節点機能の強化としての新静岡駅周辺整備や紺屋町地下道リニューアル工事等、指標の改善に寄与する事業を実施することで目標値の達成が見込まれる。	◎	新静岡駅周辺地区整備や、それに伴う商業施設休業の影響に加えて、急激な経済状況の変化により歩行者通行量が減少しているため、目標の達成は難しい状況にある。
	新静岡駅周辺(電線共同溝)整備事業	-		-		-	
	市道呉服町通線道路整備事業	-		-		-	
	駿府公園整備事業(第4工区坤槽)	-		-		-	
	森下公園再整備事業	-		-		-	
	静岡都心公共サイン設置事業	◎		◎		◎	
	しずま子地下道内装工事	○		◎		◎	
	紺屋町地下道リニューアル整備事業	-		-		-	
	静岡駅北口駅前広場植栽工事	◎		◎		○	
	静岡呉服町第一地区市街地再開発事業	-		-		-	
提案事業	鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業	-	-	-	-	-	
	地域創造支援事業・静岡市美術館整備事業	◎	◎	○	◎	-	
関連事業	まちづくり活動推進事業・(仮称)まちづくり推進事業	-	-	-	-	-	
	市街地再開発事業・静岡駅前紺屋町地区	◎	◎	◎	◎	-	
	交通結節点改善事業・JR静岡駅前北口広場	◎	◎	◎	◎	-	
	交通結節点改善事業・JR静岡駅南口広場	-	-	-	-	-	
	道路事業・御幸町鷹匠町2号線	-	-	◎	◎	-	
静岡都心地区歩行者優先都市交通環境形成まちづくり推進事業	-	-	-	-	-		
静岡呉服町第二地区市街地再開発事業	-	-	-	-	-		

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
 - ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
 - △：完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
 - x：事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
 - ：評価できない。
- 〔 未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない 〕

今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・駿府公園の坤槽整備を平成25年度完成に向けて推進する。 ・静岡市美術館における企画や商店街とのタイアップを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新静岡駅周辺の整備(電線共同溝等)を進める。 ・市道呉服町通線の整備に向けて事業を推進する。 	景気後退に伴う平成20~21年度歩行者通行量の大幅な減少を味したトレンドを見直し、目標値の下方修正を行うとともに、引き続き市街地再開発事業や公園整備等、にぎわい拠点整備を推進し、歩行者通行量の減少傾向を抑制する。
--------	--	--	--

(4) モニタリングの所見

添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
「静岡らしさ」の不足	<ul style="list-style-type: none"> 市の文化拠点の一つである静岡市美術館が整備された。 歴史拠点である駿府公園の再整備が順調に進捗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 駿府公園における坤櫓整備事業の期間内完了が必要である。 静岡市美術館の展示やイベント等の企画を継続的に展開するとともに、商店街とのタイアップを継続する。 	平成20年度以降の経済状況の急激な変化等の外的要因によって、本地区においても中心市街地の経済活力が停滞しているため、当初から計画していた市街地再開発事業や公園整備等を着実に実施し、活力を回復させる必要がある。
回遊性の不足	<ul style="list-style-type: none"> 公共サインの設置や地下道整備により、駅からの移動経路の煩雑性が解消され、回遊性の向上につながった。 地下道整備により、「広く・明るい」歩行者空間が形成された。 	歩行者空間の改善に寄与する事業の多くが整備中又は整備予定であるため、整備効果の早期発現に向けて事業実施を促進する必要がある。	
にぎわいの不足	静岡駅北口周辺整備や紺屋町地区における再開発事業とそれに伴う周辺地下道の一部整備、静岡市美術館の整備により、にぎわいの創出に寄与している。		

添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点	
		具体的項目	内容
順調	●	事業の進め方の工夫 市民との協働による事業の実施	住民、商業関係者等市民との協働(ワークショップ)を実施し、事業の推進や整備施設の活用を促す事業の検討により、地域資源を活かした、活力のあるまちづくりを推進する。
計画・事業の進め方の改善が必要			
経済状況の急激な変化等により、計画策定当初の目標値を見直す必要がある。	都市再生整備計画の見直しの必要性	指標3「歩行者通行量」の目標値の見直し	景気後退に伴う平成20~21年度歩行者通行量の大幅な減少を加味したトレンドに見直し、目標値の下方修正を行う。

(5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成23年10月20日～11月18日	平成23年10月20日～11月18日	郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所都市計画課または各区役所窓口へ直接持参	都市局 都市計画部 都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成23年10月1日発行 広報10月1日号	平成23年10月20日～11月18日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口及び各区庁舎市政情報コーナーにおける閲覧	平成23年10月20日～11月18日	平成23年10月20日～11月18日		

住民の意見					
-------	--	--	--	--	--

(6) 有識者からの意見聴取

添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
日詰一幸(静岡大学人文学部法学科教授) 室田昌子(東京都市大学環境情報学部環境情報学 科准教授) 石上義之(技術士)	平成23年12月1日	都市局 都市計画部 都市計画課

有識者の意見	<p>「平成23年度静岡市都市再生整備計画事業評価委員会」にて意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は再開発による新住民の転入も予想されるので、量的指標となる歩行者通行量だけでなく、再開発による新住民と従来からの住民との関わりやまちづくりに対する機運の高まりを計測できる質的指標が必要になってくると思う。 ・再開発事業により床面積が増えれば歩行者の増加を期待できるが、床面積が増えることにより空室が埋まらないという問題も起こり得る。 ・全国的な中心部における通行量の減少傾向と比較して、本地区は人出が多く素晴らしいと思う。今後は、商業・歴史・アートなどの多方面が連携すると面白い取り組みができるのではないかと期待している。(第1期計画フォローアップとの関連からの意見) <p>対応方針</p> <p>→まちのにぎわいには来街者数の確保が必要であり、歩行者通行量は毎年調査を実施し、第1期計画から継続して設定している指標であることから、今後も引き続き歩行者通行量を用いて評価を行っていく。また、事後評価時には、「その他の数値指標」として質的な指標を設けることも視野に入れた検討を行う。</p> <p>→聴取した意見に留意しながら、今後も地区のまちづくりを推進していく。</p>
--------	--